

令和4年度

第3回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書課

## 1 アンケートの概要

調査対象者	令和4年度 市政モニター 187人
調査期間	令和4年12月1日(木)～令和4年12月15日(木)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	⑥住宅用火災警報器について ⑦新居浜市の広報・広聴活動について
回答率	

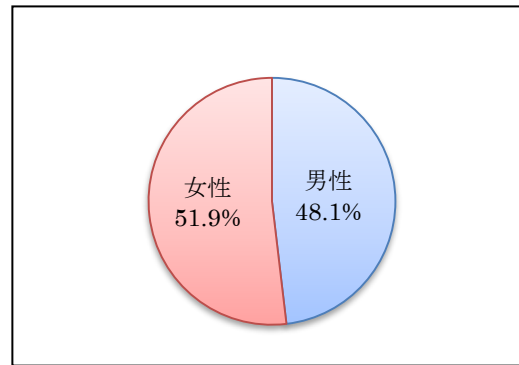
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
⑥	187	152	81.2%
⑦	187	147	78.6%

## 2 市政モニター内訳 (※令和4年12月1日時点)

### <性別>

(単位:人)

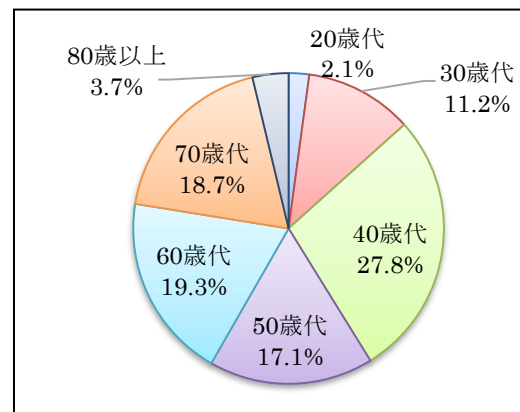
男性	90 (48.1%)
女性	97 (51.9%)
合計	187 (100.0%)



### <年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	2	4 (2.1%)
30歳代	5	16	21 (11.2%)
40歳代	18	34	52 (27.8%)
50歳代	13	19	32 (17.1%)
60歳代	20	16	36 (19.3%)
70歳代	26	9	35 (18.7%)
80歳以上	6	1	7 (3.7%)

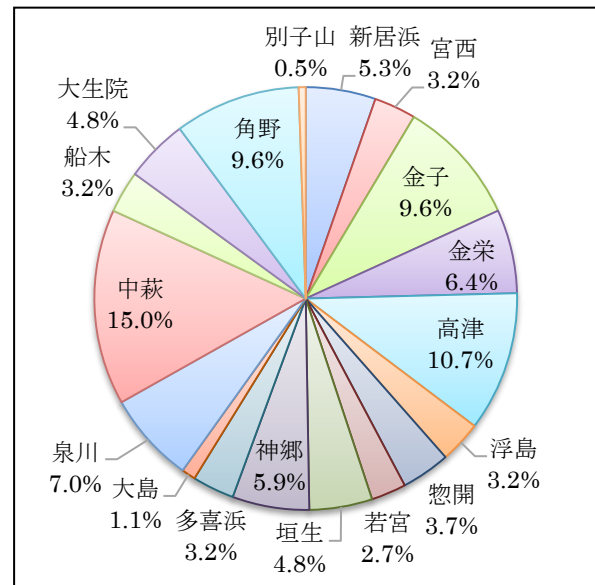


※年齢は令和4年4月1日時点

＜居住地域別＞

(単位：人)

	男性	女性	合計
新居浜	3	7	10 (5.3%)
宮西	1	5	6 (3.2%)
金子	11	7	18 (9.6%)
金栄	2	10	12 (6.4%)
高津	10	10	20 (10.7%)
浮島	4	2	6 (3.2%)
惣開	4	3	7 (3.7%)
若宮	3	2	5 (2.7%)
垣生	4	5	9 (4.8%)
神郷	8	3	11 (5.9%)
多喜浜	1	5	6 (3.2%)
大島	2	0	2 (1.1%)
泉川	6	7	13 (7.0%)
中萩	15	13	28 (15.0%)
船木	5	1	6 (3.2%)
大生院	4	5	9 (4.8%)
角野	6	12	18 (9.6%)
別子山	1	0	1 (0.5%)



＜回答方法 種別＞

(単位：人)

郵送モニター	73 (39.0%)
Eメールモニター	114 (61.0%)
合計	187 (100.0%)

＜選任方法 種別＞

(単位：人)

公民館推薦	42 (22.5%)
公募	145 (77.5%)
合計	177 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

### 3 調査結果

#### テーマ⑥ 住宅用火災警報器について

##### 【調査趣旨】

平成 23 年 6 月から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化され長い時間が経過しました。義務化当初には、普及率は上昇傾向にありましたが現在では高止まりの状況となっています。また、設置世帯についても機器の高経年化により部品の寿命や、電池切れなどでいざというときに作動しなくなることが危惧されております。そのため、設置状況等のアンケートを取らせていただき、今後の普及・啓発等の参考にできればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。また、併せてこの機会に未設置世帯の方は設置を行っていただき、既に設置されている世帯の方は警報器の点検や清掃、製造から 10 年を経過している場合は交換等の対応をお願いします。

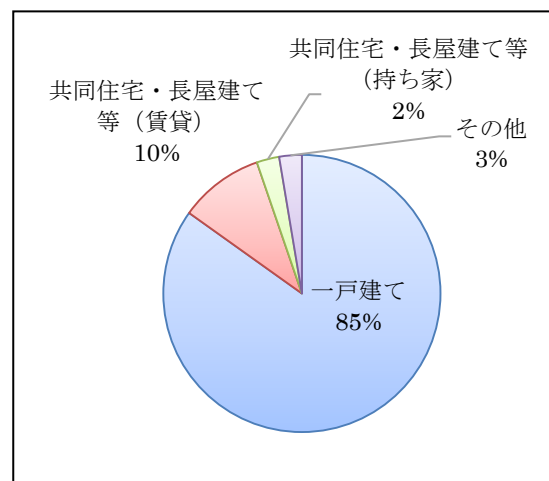
(担当課：予防課)

(※問 1 はモニター属性特定のための設問であり、省略)

#### 問 2. お住まいの状況についてお尋ねします。

(1つ選択)

1. 一戸建て	129 人
2. 共同住宅・長屋建て等 (賃貸)	15 人
3. 共同住宅・長屋建て等 (持ち家)	4 人
4. その他	4 人

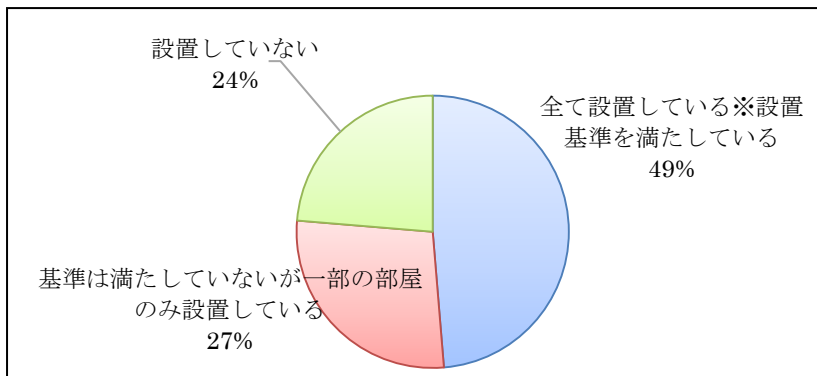


「1. 一戸建て」(129 人) が最も多く、次いで「2. 共同住宅・長屋建て等 (賃貸)」(15 人)、「3. 共同住宅・長屋建て等 (持ち家)」(4 人)、「4. その他」(4 人) となっています。

#### 問 3. 住宅用火災警報器についてお聞きします。ご自宅に住宅用火災警報器を設置していますか。

※住宅用火災警報器は、基本的には寝室と寝室がある階の階段上部 (1 階の階段は除く。) に設置することが必要です。また、住宅の階数等によっては、その他の箇所 (階段) にも必要になる場合があります。(複数選択)

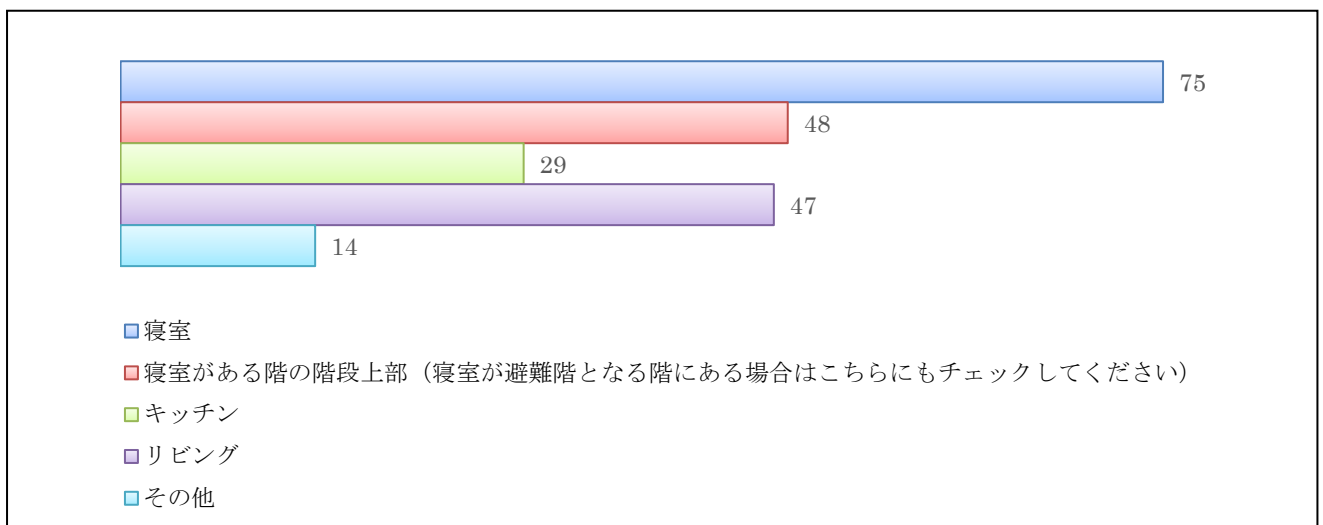
1. 全て設置している※設置基準を満たしている	74 人
2. 基準は満たしていないが一部の部屋のみ設置している	42 人
3. 設置していない	36 人



「1. 全て設置している※設置基準を満たしている」(74人)と答えた方が最も多く全体の49%、ほぼ半数の方が設置基準を満たしているという結果となりました。一方で、設置していない人も全体の24%いるという結果となりました。

#### 問4. 住宅用火災警報器を設置している場所はどこですか？(複数選択)

1. 寝室	75人
2. 寝室がある階の階段上部 (寝室が避難階となる階にある場合はこちらにもチェックしてください)	48人
3. キッチン	29人
4. リビング	47人
5. その他	14人



最も多かったのが「1. 寝室」(75人)で、次いで「2. 寝室がある階の階段上部」(48人)、「4. リビング」(47人)が多く挙げられています。

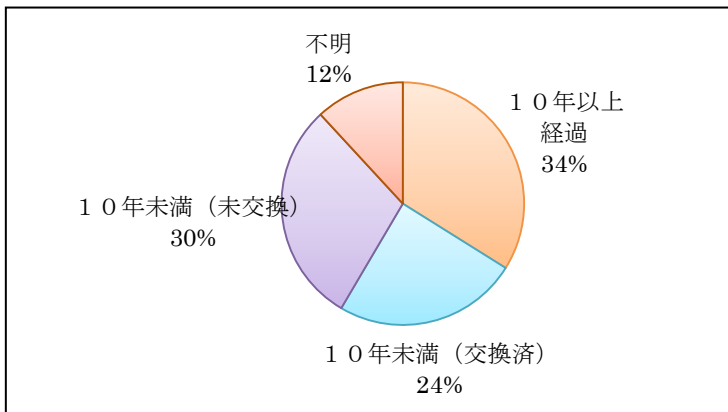
#### 問5. 問4で「5. その他」と答えた方にお尋ねします。どこに設置していますか(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

座敷	廊下	和室	子どもの部屋	納戸
二階段上部	クローゼット	玄関・玄関横	使っていない部屋	寝室の隣の部屋
全ての部屋	風呂トイレ洗面所以外の各部屋			

問6. 一番古い住宅用火災警報器を設置してからどのくらいの期間が経過していますか？（1つ選択）

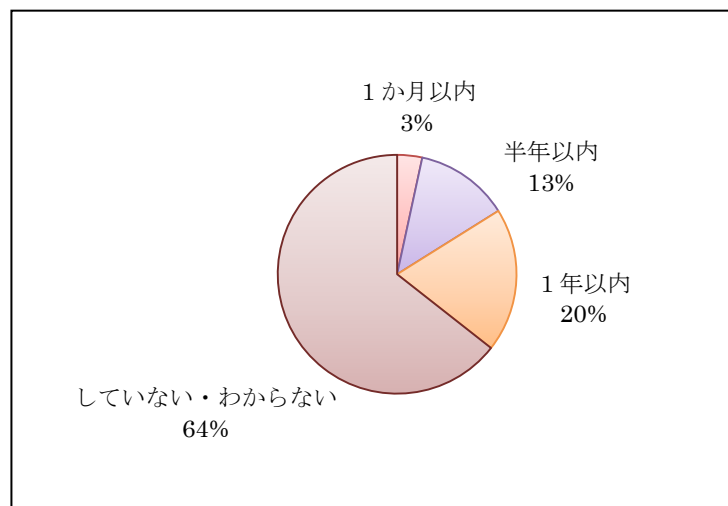
1. 10年以上経過	40人
2. 10年未満（交換済）	29人
3. 10年未満（未交換）	35人
4. 不明	14人



「1. 10年以上経過」（34%）と答えた方が最も多くいましたが、既に交換済みと答えた方も全体の24%いるという結果となりました。

問7. 住宅用火災警報器の作動確認をいつ実施しましたか？（1つ選択）

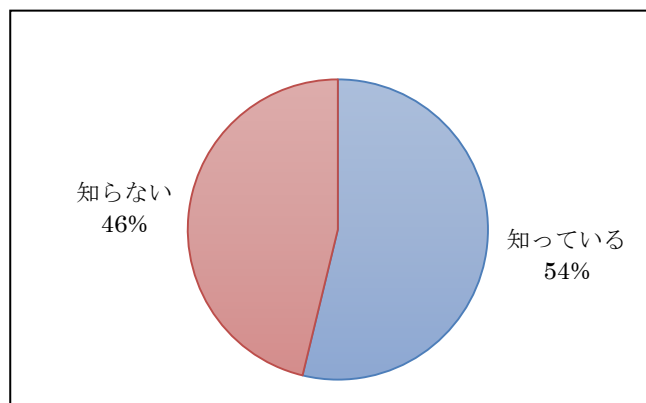
1. 1か月以内	4人
2. 半年以内	15人
3. 1年以内	23人
4. していない・わからない	76人



「4. していない・わからない」（76人）が最も多く、全体の64%の方が作動確認を行っていない、もしくは不明な状態であるという結果となりました。

問8. 住宅用火災警報器は電子部品の寿命により火災を感知しなくなることがあるため、設置から10年を目安に、本体の交換が推奨されているのをご存知ですか。（1つ選択）

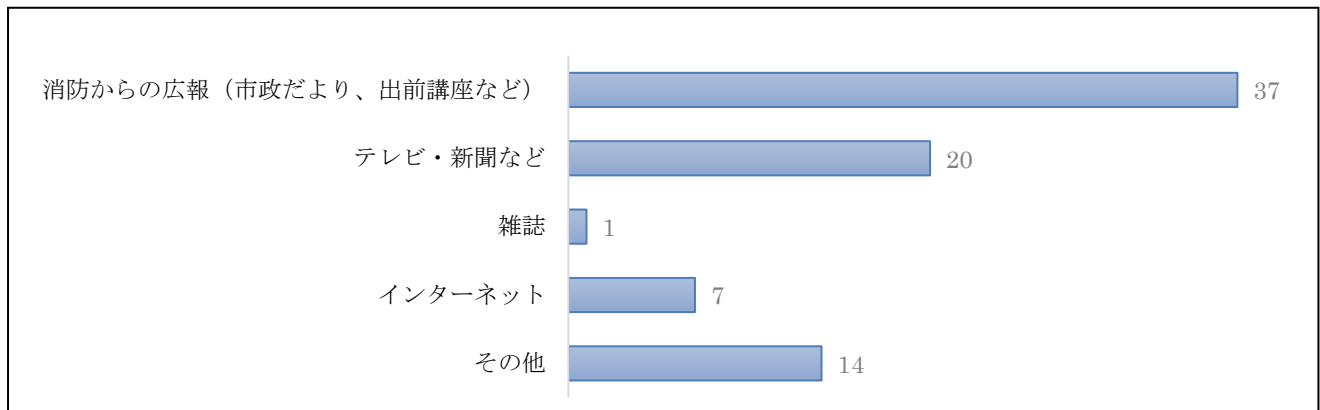
1. 知っている	64人
2. 知らない	55人



「1. 知っている」（64人）と答えた方が、「2. 知らない」と答えた方をわずかに上回りました（54%）。

問9. 問8で「1. 知っている」と答えた方にお尋ねします。その情報について、何で知りましたか  
(複数選択)

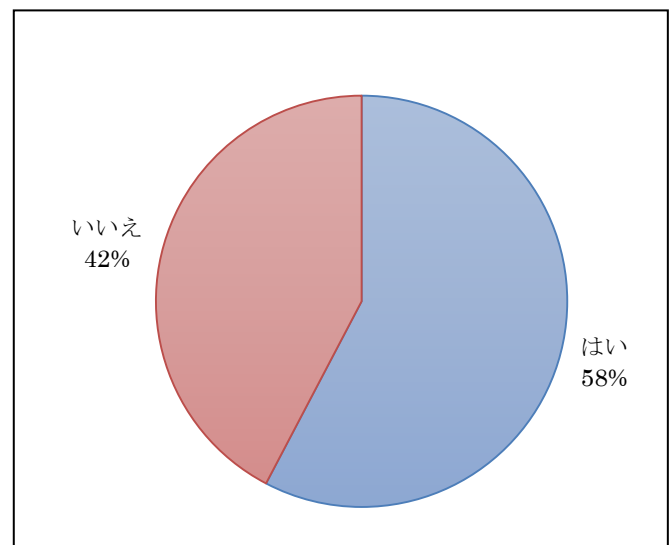
1. 消防からの広報（市政だより、出前講座など）	37人
2. テレビ・新聞など	20人
3. 雑誌	1人
4. インターネット	7人
5. その他	14人



住宅用火災警報器は設置から10年を目安に、本体の交換が推奨されていることを知った情報源としては、「1. 消防からの広報（市政だより、出前講座など）」（37人）が最も多く、次いで「2. テレビ・新聞など」（20人）の順となっています。

問10. 設置から約10年経った住宅用火災警報器がある方は取り替える予定はありますか？また問3で「3. 設置していない」と答えた方は今後設置する予定はありますか？  
(1つ選択)

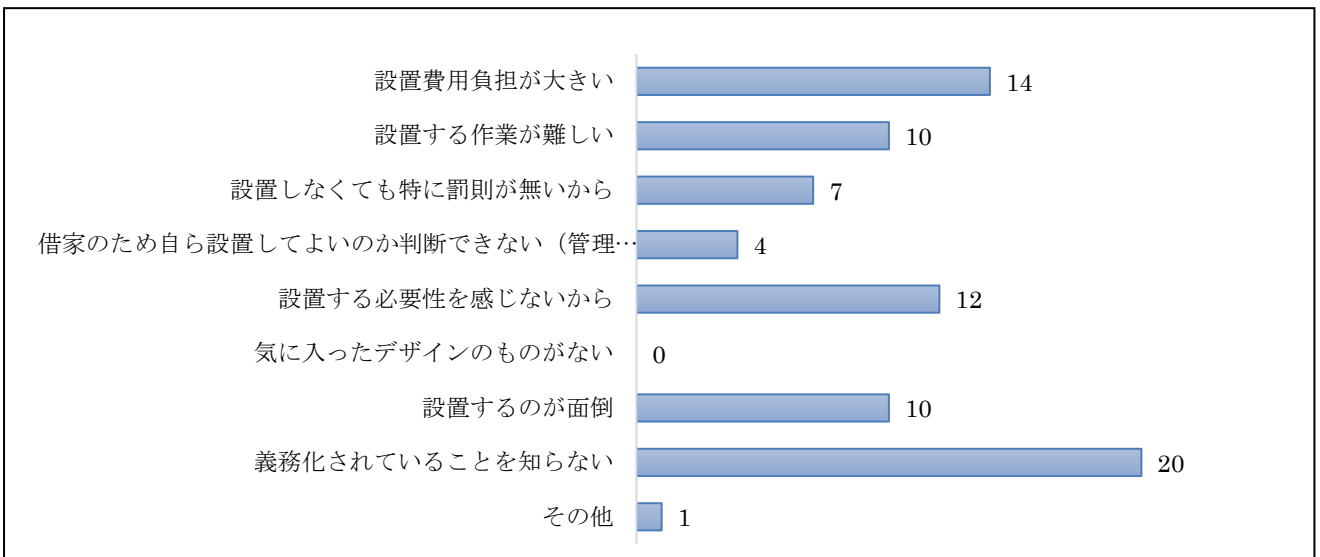
1. はい	75人
2. いいえ	55人



「1. はい」（75人）と答えた方が58%と半数を超え、「2. いいえ」（55人）と答えた方を上回りました。

問11. 問10で「2. いいえ」と回答した方にお尋ねします。その理由は何ですか。(複数選択)

1. 設置費用負担が大きい	14人
2. 設置する作業が難しい	10人
3. 設置しなくても特に罰則が無いから	7人
4. 借家のため自ら設置してよいのか判断できない(管理者がつけてくれない)	4人
5. 設置する必要性を感じないから	12人
6. 気に入ったデザインのものがない	0人
7. 設置するのが面倒	10人
8. 義務化されていることを知らない	20人
9. その他	1人



「8. 義務化されていることを知らない」(20人)と答えた方が最も多く、次いで「1. 設置費用負担が大きい」(14人)、「5. 設置する必要性を感じないから」(12人)、「2. 設置する作業が難しい」(10人)、「7. 設置するのが面倒」(10人)の順となっています。

問12. 問11で「9. その他」と答えた方にお尋ねします。交換しない・設置しない理由は何ですか。自由にご記入ください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・築4、5年目の賃貸。まだ10年は経ってないと思われるのと、賃貸なので交換するつもりもなかった。(それまでに出ていく予定もあり。)
- ・借りてる家なのでよくわからない
- ・賃貸であり、大家の許可がないため。
- ・社宅のため、会社が定期的にしてきているため個人ではしていない。
- ・どこに問い合わせるのがベストかわかりにくい
- ・定期的に作動を確認している。



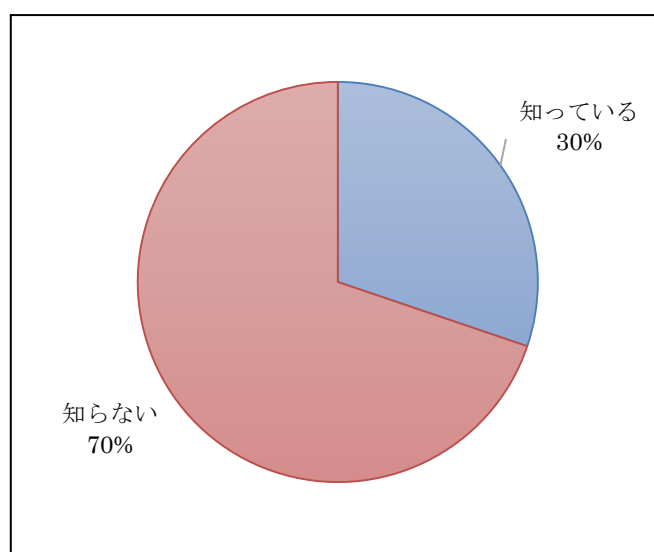
- ・正常に作動しているから。
- ・交換目安の時期を知らなかったから。
- ・設置して数年後（記憶が曖昧ですが）に、帰宅したら報知器が「火事です、火事です」と鳴っていたので、効果に疑問を持った。
- ・火災予防やその他災害の被害及び損害の軽減は常に準備や備えを、自己責任で行うべきだと考えられます。従いまして機械器具は最終的な警報器具で、火気使用や暖房機器の使用終了最終点検を、使用者自身が行うことを習慣づければ避難器具設備以外は完結できると考えます。
- ・緊急性、必要性がせば詰ったものになっていなかったなあと感じています。
- ・今回のアンケートをするまで全く考えになくプランに入っていなかった。今後検討していきたい。

問13. 新居浜市では、65歳以上の人のみが住む世帯を対象に、消防職員による住宅用火災警報器の取付け支援事業を行っていますか？

(1つ選択)

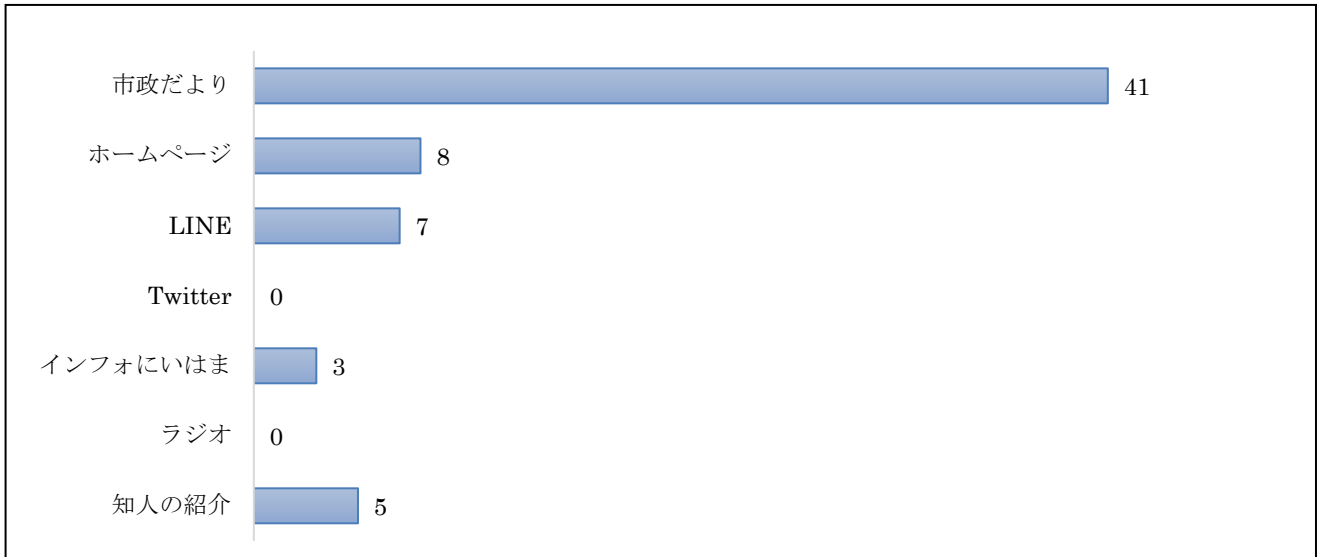
1. 知っている	45人
2. 知らない	104人

「2. 知らない」(104人)と答えた方が7割という結果となりました。



問14. 問13で「1. 知っている」と答えた方にお尋ねします。その情報について何で知りましたか？(複数選択)

1. 市政だより	41人
2. ホームページ	8人
3. LINE	7人
4. Twitter	0人
5. インフォにいほま	3人
6. ラジオ	0人
7. 知人の紹介	5人

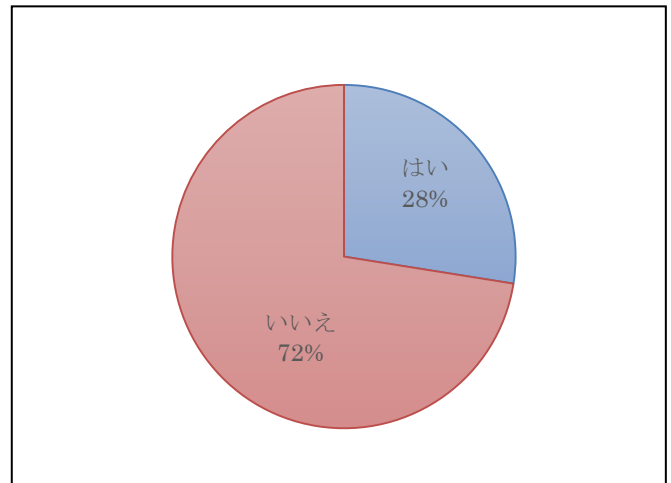


支援事業について知っている方の情報源としては、「1. 市政だより」(41人)と答えた方が最も多く、次いで「2. ホームページ」(8人)、「3. LINE」(7人)が多いという結果となりました。

問15. 感震ブレーカーについてお聞きします。  
感震ブレーカーという装置があることを知っていますか？ (1つ選択)

1. はい	41人
2. いいえ	108人

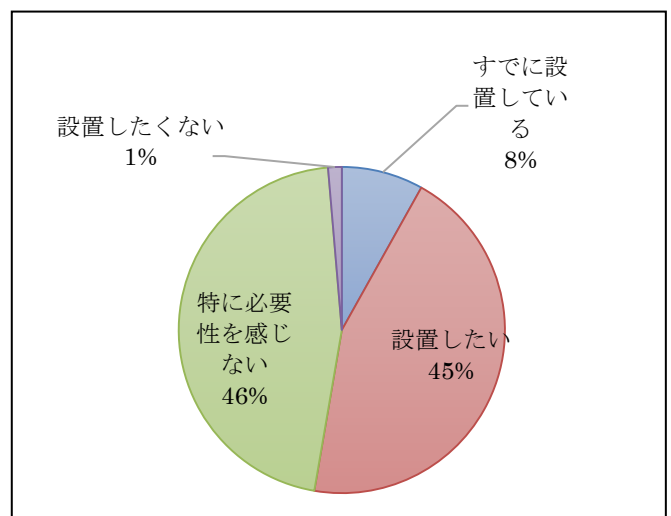
「2. いいえ」を選択した方が108人で、感震ブレーカーを知っている人は3割弱であるという結果となりました。



問16. 感震ブレーカーをご自宅に設置したいと思いますか。  
(1つ選択)

1. すでに設置している	12人
2. 設置したい	66人
3. 特に必要性を感じない	68人
4. 設置したくない	2人

「1. すでに設置している」(12人)、「2. 設置したい」(66人)と答えた方が53%で半数以上いる一方で「3. 特に必要性を感じない」(66人)と答えた方も46%、ほぼ半数いるという結果となりました。



<まとめ>

住宅用火災警報器は、住宅火災から命を守る「最後の切札」として、平成23年に全ての住宅に設置が義務化されました。令和3年時点での本市の普及率は、全国平均よりも下回る水準を推移しており、本市では普及率の上昇が喫緊の課題となっています。また、設置の義務化から10年以上が経過し、既設機器については、電池の寿命や機器の高経年化等が危惧されるなど新たな課題にも直面しています。このことから、広報誌やSNS等の各種の広報媒体を利用し設置及び維持管理についての普及啓発活動を行っておりますが、それらがどの程度市民へ浸透しているかなどを確認するためアンケート調査を行いました。

まず、全体の76%の方が住宅用火災警報器を設置していました。最も多かった設置場所は「寝室」、次いで「寝室がある階の階段上部」となっており、多くが設置義務のある場所に設置されています。また、警報器を設置してからの経過年数は、「10年以上経過した」が34%と最も多く、一方で作動確認を実施したかどうかは64%の方が「していない・わからない」と回答しており、維持管理の重要性については浸透度が低いことがわかりました。

次に、電池の寿命により10年を経過した機器は本体の交換が推奨されていることについては、「知っている」が「知らない」を上回っており、また、10年を経過した機器がある方の内、「取替える予定がある」又は未設置世帯の方の内「今後設置を検討する」とした世帯は、58%と半数を超えていることから住宅用火災警報器の設置や取替えの必要性は一定程度浸透していることがわかりました。

次に、設置率の上昇へ向けた新たな取組みとして今年度からサービスを開始した消防職員による取付け支援事業については、70%の方が「知らない」と回答しており、事業の浸透度が低いことがわかりました。

以上のことから、住宅用火災警報器の維持管理の必要性や取付け支援事業については、まだ十分に浸透していない状況であるため、今後は、広報活動に更に力を入れると共に、各関係団体との連携を強化し事業の浸透度を高めるよう努めてまいります。

最後になりますが、市政モニターの皆様におかれましては、アンケートへのご回答、貴重なご意見をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

(予防課)



©NPO法人新居浜まちゅり隊

## テーマ⑦ 新居浜市の広報・広聴活動について

### 【調査趣旨】

新居浜市では、広報紙「市政だよりにはま」の発行をはじめ、広報番組やホームページ等のさまざまな手段（媒体）を通じて、市民の皆さんに市政情報をお届けしております。また、市長への手紙やメール、市政モニター制度、まちづくりタウンミーティングの開催などを通じて、広く市民の皆さんのご意見やご提案（市民の声）をお聞きし、市政への反映を図っています。

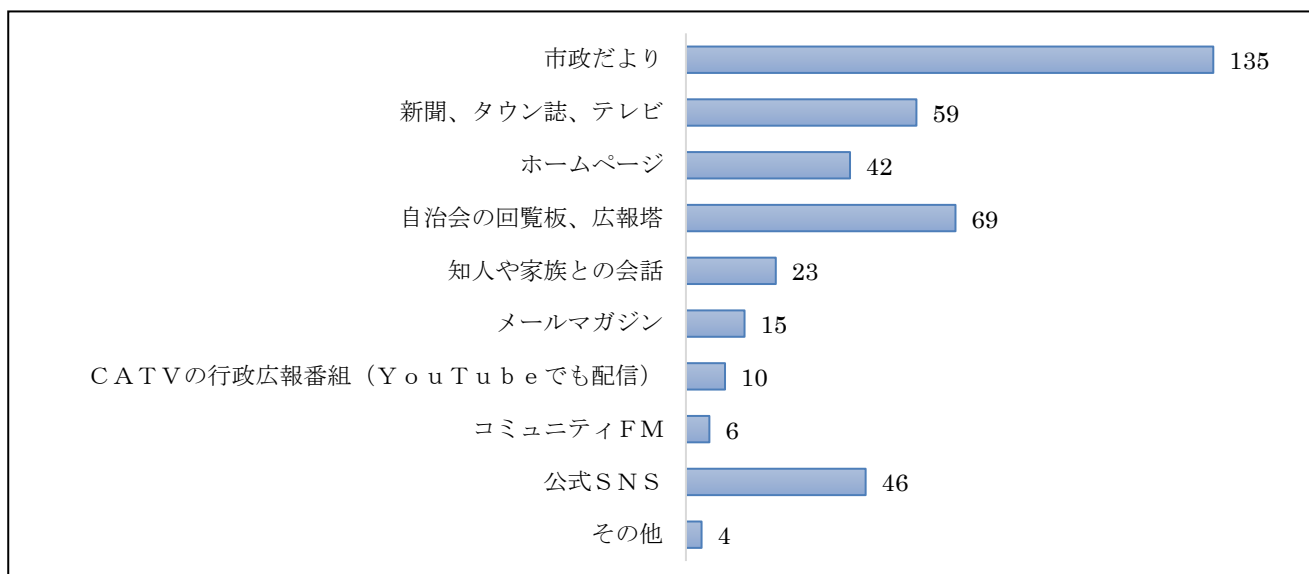
今回のアンケートでは、これらの広報・広聴活動について、市民の皆さんの認知度やニーズ等をお聞きし、今後、よりわかりやすい広報及び身近な広聴活動を進めて行くための参考資料として活用していきたいと考えています。  
(担当：秘書広報課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

### 問2.【市の広報活動】に関してお伺いします。

市のお知らせやイベント情報はどこで手に入れますか。(複数選択)

1. 市政だより	135人
2. 新聞、タウン誌、テレビ	59人
3. ホームページ	42人
4. 自治会の回覧板、広報塔	69人
5. 知人や家族との会話	23人
6. メールマガジン	15人
7. CATVの行政広報番組 (YouTubeでも配信)	10人
8. コミュニティFM	6人
9. 公式SNS (ツイッター、フェイスブック、ライン)	46人
10. その他	4人

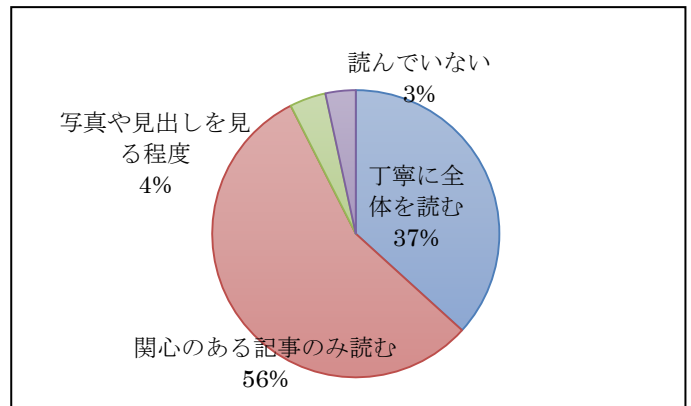


「1. 市政だより」(135人)、「4. 自治会の回覧板、広報塔」(69人)、「2. 新聞、タウン誌、テレビ」(59

人)、「9. 公式SNS (ツイッター、フェイスブック、ライン)」(46人)、などが、市のお知らせやイベント情報の入手手段として多く挙げられています。

**問3. 市政だよりを読んでいますか。(1つ選択)**

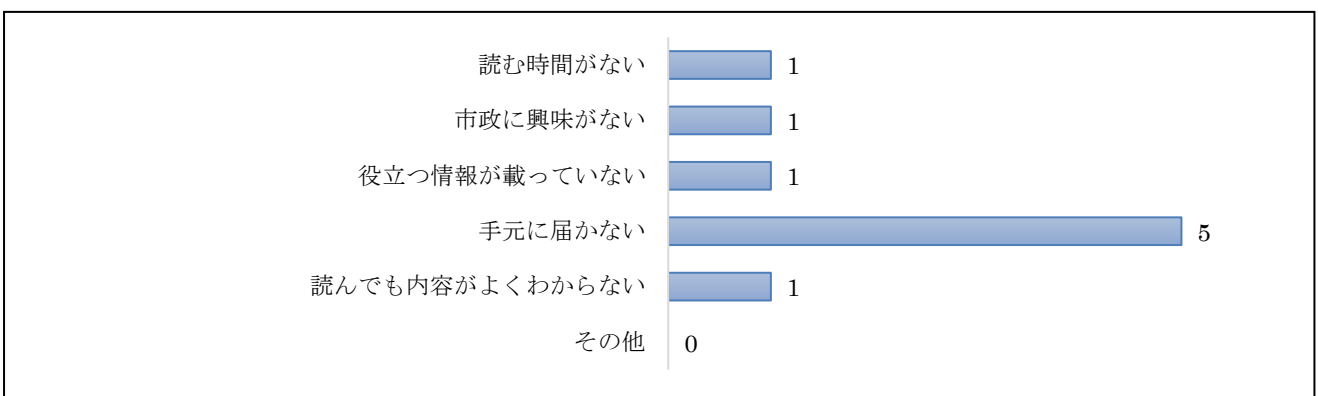
1. 丁寧に全体を読む	54人
2. 関心のある記事のみ読む	82人
3. 写真や見出しを見る程度	6人
4. 読んでいない	5人



「2. 関心のある記事のみ読む」(56%)と答えた方が最も多く、全体の約6割となっています。「1. 丁寧に全体を読む」(37%)と合わせると、全体の約9割の方が市政だよりを読んでいることがわかりました。

**問4. 問3で「4. 読んでいない」と答えた方にお伺いします。市政だよりを読まない理由は何ですか。(複数選択)**

1. 読む時間がない	1人
2. 市政に興味がない	1人
3. 役立つ情報が載っていない	1人
4. 手元に届かない	5人
5. 読んでも内容がよくわからない	1人
6. その他	0人



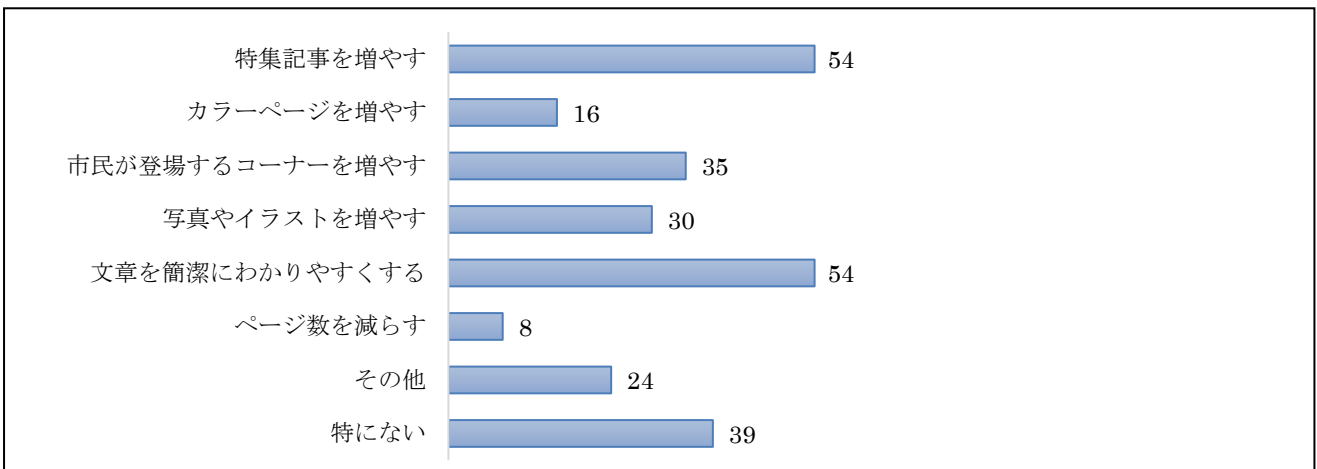
「4. 手元に届かない」(5人)が、市政だよりを読まない理由として最も多く挙げられています。

**問5. 問4で「6. その他」と答えた方にお伺いします。市政だよりを読まない理由を教えてください。(自由記入)**

※該当なし

問6. 市政だよりについて、改善してほしい点やご要望を教えてください。(複数選択)

1. 特集記事を増やす	54人
2. カラーページを増やす	16人
3. 市民が登場するコーナーを増やす	35人
4. 写真やイラストを増やす	30人
5. 文章を簡潔にわかりやすくする	54人
6. ページ数を減らす	8人
7. その他	24人
8. 特にない	39人



「5. 文章を簡潔にわかりやすくする」(54人)、「1. 特集記事を増やす」(54人)と答えた方が多く、他にも「3. 市民が登場するコーナーを増やす」(35人)、「4. 写真やイラストを増やす」(30人)などの回答も多くありました。

問7. 問6で「7. その他」と答えた方にお伺いします。市政だよりについて、改善してほしい点やご要望を教えてください。(自由記入)

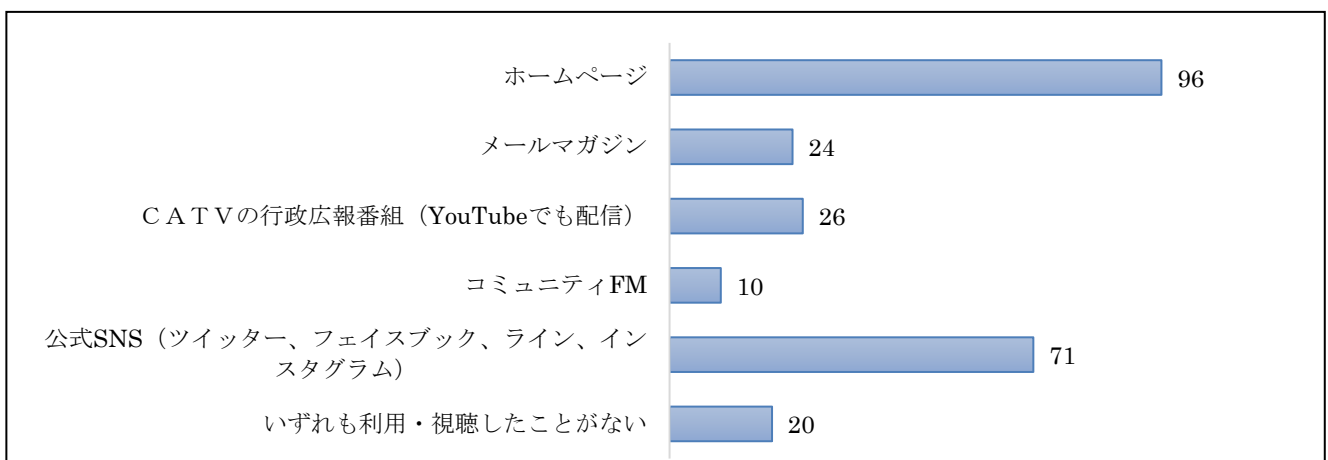
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・不用品伝言板を掲載してほしいです。少しでも大型ごみを減量させられます。使えるものを他の必要としている人に譲り、ネットが苦手な人もいるので、お年寄りも見やすいように市政だよりも載せてほしい。
- ・迷い猫、迷い犬の情報も載せてもらえると殺処分が減ると思います。
- ・自治会に入っていないともらえない。賃貸になり、自治会も抜け…支所にとりに行って読んでいる。不満もなし。字を大きくした方が読みやすいかも…。読むのは年のいった人しか読んでなさそう…。
- ・なんか雑然としているのでスムーズに読めるようにしてほしい
- ・電子版のみにしてペーパーレス化してもよいのでは？
- ・各自治体、校区等において、高齢者等に対する温かい支援、また児童生徒に対する有効な取組等があれば、適宜紹介していただければ参考となり、輪が広がるのではと思います。

- ・色々工夫してくださっています。今やどこの市にも引けを取らない情報誌ではとの思いです。
- ・市議会で議員の質問に対して、当局が回答することについて議員全員に平等に党派に関係なく、平等の字数で、回答を記入してほしい。
- ・全市議の答質をのせてほしい。一部市議の答がない。
- ・P3面に、市が特に今月力を入れている事、そのために市民の皆さんに協力してもらいたいことを具体的に1つだけ大きく呼びかけてはいかがでしょうか？
- ・市の文化芸能の人物を載せてほしい。特に刀工等、誇れる人が埋もれている。
- ・コロナワクチンの情報等乏しく、人に聞かないと間違った認識の人が多。
- ・市民体育館のお知らせをもう少し詳しく、大きく掲載してほしいです。
- ・ツイッターなんかは一つのツイートで画像4枚貼れるのだから注目して欲しいページとかは画像で載せてもいいんじゃないか？
- ・情報はできるだけ早く、開催や実施まで繰り返し欲しい。
- ・情報量が多すぎる。
- ・注目記事が分からない。
- ・もう少しページ数を増やして、お知らせのページにゆとりを持たせて見やすくして欲しい。
- ・文字フォントを大きく。薄い色の字は避ける。
- ・詳しい情報へのアクセスをわかりやすくして、市政だよりでの説明は簡潔なほうがありがたい。
- ・移住してきている人がいるなら、その活動の進捗や活動を毎月ではなくてもいいのでコーナー化したりして継続的に紹介してみてもいいのではないかと思います。
- ・市民が登場するコーナーはできる限り減らす。市政の内容をもっと増やし、分かり易い説明をしてください。
- ・ネット配信も併用してはどうか。需要は多いと思うし、冊子作成費用節減になる。オンデマンドであるからこそできる仕組みも多くある、便利だと思う。
- ・確実に届く仕組みが欲しい。配ってほしい。
- ・市政だよりの配布方法についてです。自宅に届くルートとしては自治会のルートが中心になっているようですが、自治会未加入者が増えていることから、市政だよりが個人に届きにくくなっています。例えば自治会未加入者にも自治会ルートで配布するなど、何らかの配布方法の検討が必要と考えます。もちろん公共施設に取りに行く、ホームページを見る、自治会に加入するなど自分で入手する方法はあると思いますが、それが出来ない高齢者や共働き世帯が増えていることもありますので。せっかく良い市政だよりを作っても「もったいない」と思います。
- ・私はインターネットや市役所に立ち寄った時は受付で頂きますが、インターネットの設備機器の無い方や役所に行ける手段の無い方が多く居られると思います。そのような方に如何にして市の行政の事業や行事等、行政指導広報を確知および認知できるでしょうか。市の行政責任として市民全家庭に広報紙を配布する必要があると思います。多くの校区や自治会において、自治会加入者以外には配布されないのは如何ものでしょうか。市役所から校区か自治会に広報の補助金か協力交付金が支給されていると聞きますが、また多くの記事が掲載されていますが、高齢者や経験不足また理解不足の方には市の意向や方針が伝わらない記載手段があるように思われます。理解し易い簡素で簡結な記述方法を期待します。

問8. 市では、市政だより以外でも、さまざまな手段（媒体）を通じ情報発信をしています。次の中  
 であなたが利用・視聴したことがあるものはありますか。（複数選択）

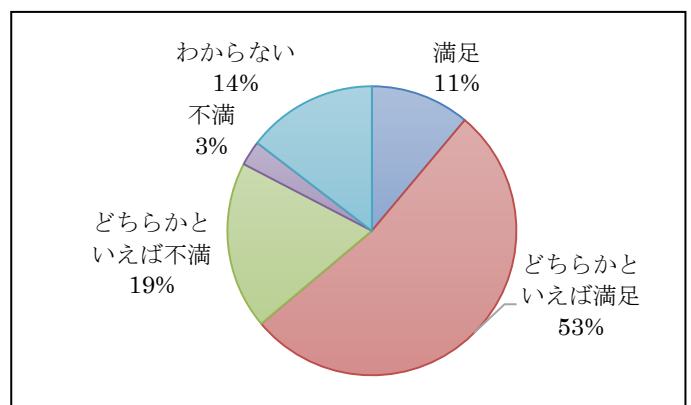
1. ホームページ	96人
2. メールマガジン	24人
3. C A T Vの行政広報番組（YouTubeでも配信）	26人
4. コミュニティFM	10人
5. 公式SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム）	71人
6. いずれも利用・視聴したことがない	20人



「1. ホームページ」(96人)と答えた方が最も多く、次いで「5. 公式SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム）」(71人)、「3. C A T Vの行政広報番組（YouTubeでも配信）」(26人)、「2. メールマガジン」(24人)の順となっています。

問9. 現在の新居浜市の広報活動についてどう思いますか。（1つ選択）

1. 満足	16人
2. どちらかといえば満足	76人
3. どちらかといえば不満	27人
4. 不満	4人
5. わからない	21人

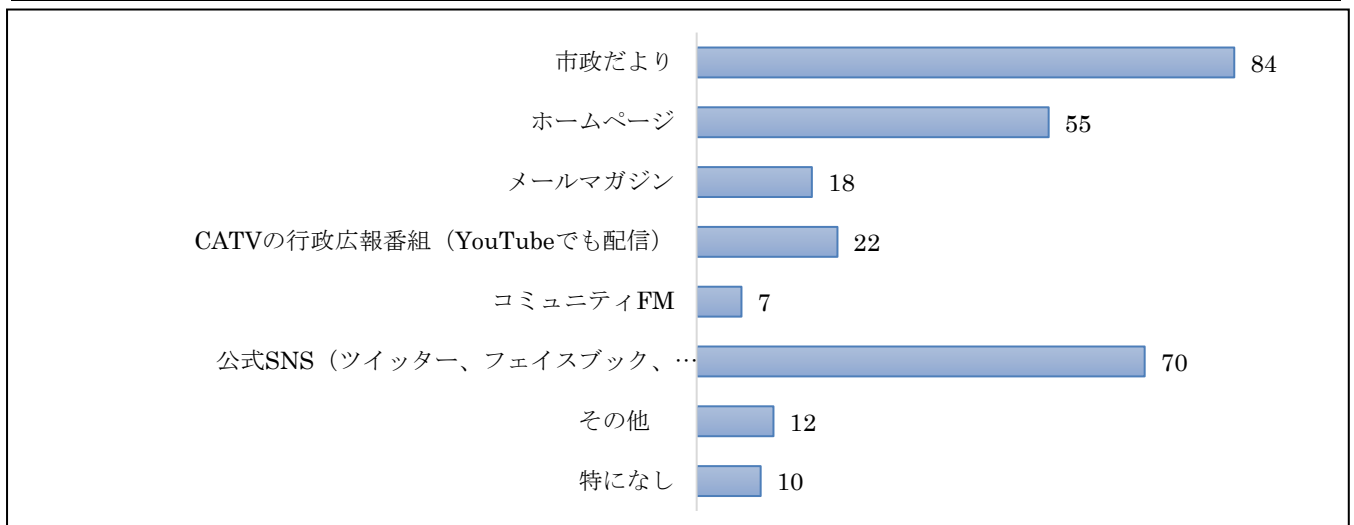


「2. どちらかといえば満足」(53%)と答えた方が最も多く、全体の半数以上となっています。「1. 満足」(11%)と合わせると、全体の64%の方が市政だよりに満足しているという結果となりました。



問10. 今後、力を入れてほしい情報発信の方法を、次の中から選んでください。(複数選択)

1. 市政だより	84人
2. ホームページ	55人
3. メールマガジン	18人
4. CATVの行政広報番組 (YouTubeでも配信)	22人
5. コミュニティFM	7人
6. 公式SNS (ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム)	70人
7. その他 (→問11へ)	12人
8. 特になし	10人



「1. 市政だより」(84人)、「6. 公式SNS (ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム)」(70人)、「4. CATVの行政広報番組 (YouTubeでも配信)」(22人)などが、今後力を入れてほしい情報発信の方法として多く挙げられています。

問11. 問10で「7. その他」と答えた方にお伺いします。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・県内には、市議会の別刷を作っている市もある。
- ・イオンなどの大型施設での情報発信
- ・市政だより・ホームページなど見る人は見ていると思う。内容によるが、子どもを通して(チラシ、学校で?)家庭に知らせてもらう。関心をもってもらう。
- ・市役所のホームページを見ることがあるが、知りたい情報になかなかたどりつけない。
- ・ホームページは探したい情報に行きつくのにいつも苦労する。
- ・CATVでもっと分かりやすく、詳しくしてほしいです。(CATVで情報伝えてほしいです)
- ・メールマガジンをどう利用するのか分からないです。
- ・YouTube
- ・自治会の回覧板や広報塔

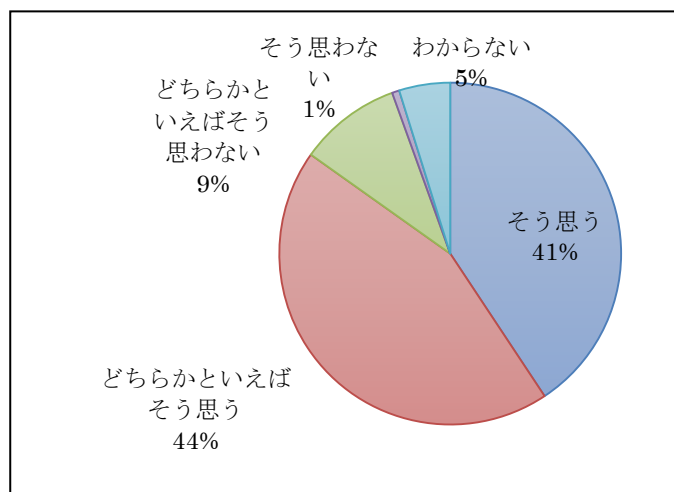
- ・防災ラジオ
- ・ラインは興味の薄い案内が多く、ラインを見なくなる傾向になるので、内容を選択して受信できるとありがたい。
- ・ホームページは探したい情報に行きつくのにもいつも苦勞する。
- ・今以上に、いくつものルートで情報にたどり着けるようにしてほしい。
- ・フリーペーパーなどに載せるのはダメでしょうか？
- ・若い人はタウン誌の方がよく見ている気がするのでタウン誌にもたくさん掲載してほしい。
- ・各家庭に、情報を届けられるよう個別のスピーカーをつけていくこと。音声で情報を届ける必要性がある。
- ・ホームページやメールマガジンなど機器が無ければ見られないものは、何も持たない高齢者はどのように確認すればよいのでしょうか？こういう環境の人にはもっと「紙」を使った情報が得られるように考えて欲しい。

問12. 【市の広聴活動】 についてお伺いします。

市政モニターの活動を通じて、市政に対する理解や関心が高くなったと思いますか。

(1つ選択)

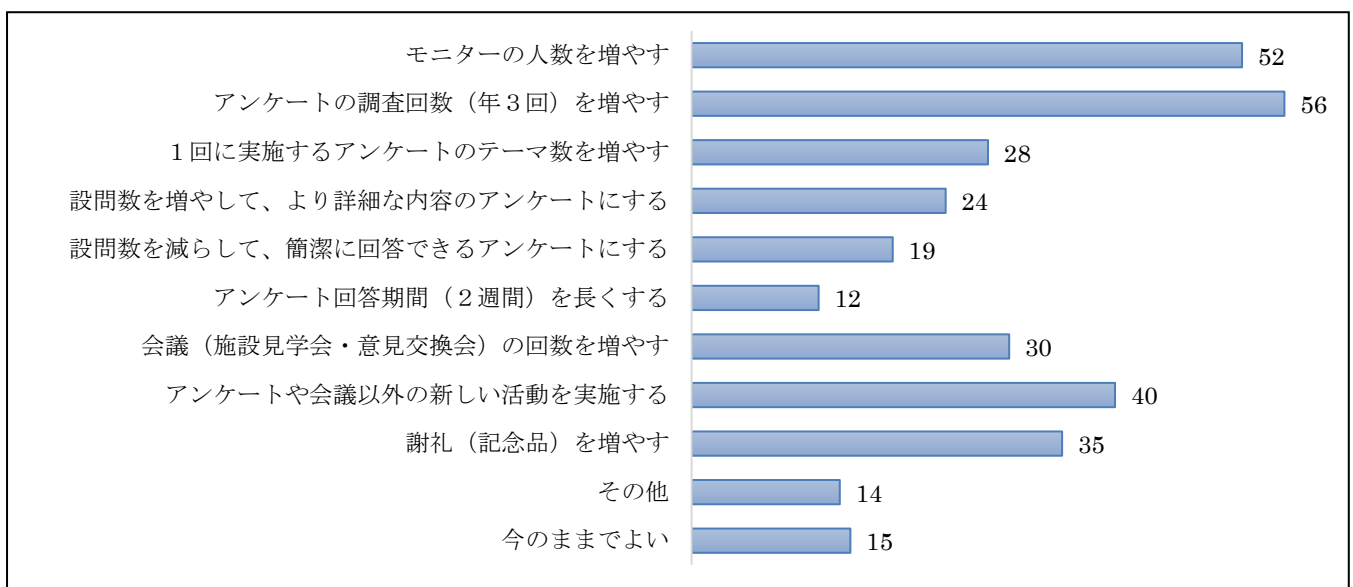
1. そう思う	59人
2. どちらかといえばそう思う	64人
3. どちらかといえばそう思わない	14人
4. そう思わない	1人
5. わからない	7人



「2. どちらかといえばそう思う」(44%)と答えた方が最も多く、次いで「1. そう思う」(41.0%)、「3. どちらかといえばそう思わない」(9%)、「5. わからない」(5%)、「4. そう思わない」(1.0%)の順となっています。

問13. 市政モニター制度は、市民の声を市政に反映させるとともに、市民の市政への関心を高めることを目的として実施しています。さらに充実した制度にするために、どのような工夫や改善が必要だと思いますか。(複数選択)

1. モニターの人数を増やす	52人
2. アンケートの調査回数(年3回)を増やす	56人
3. 1回に実施するアンケートのテーマ数を増やす	28人
4. 設問数を増やして、より詳細な内容のアンケートにする	24人
5. 設問数を減らして、簡潔に回答できるアンケートにする	19人
6. アンケート回答期間(2週間)を長くする	12人
7. 会議(施設見学会・意見交換会)の回数を増やす	30人
8. アンケートや会議以外の新しい活動を実施する	40人
9. 謝礼(記念品)を増やす	35人
10. その他	14人
11. 今のままでよい	15人



「2. アンケートの調査回数(年3回)を増やす」(56人)、「1. モニターの人数を増やす」(52人)、「8. アンケートや会議以外の新しい活動を実施する」(40人)などが、市政モニター制度をさらに充実させるための工夫や改善点として多く挙げられています。

問14. 問13で「10. その他」と答えた方にお伺いします。市政モニター制度をさらに充実させるために、必要だと思う工夫や改善点を教えてください。(自由記入)

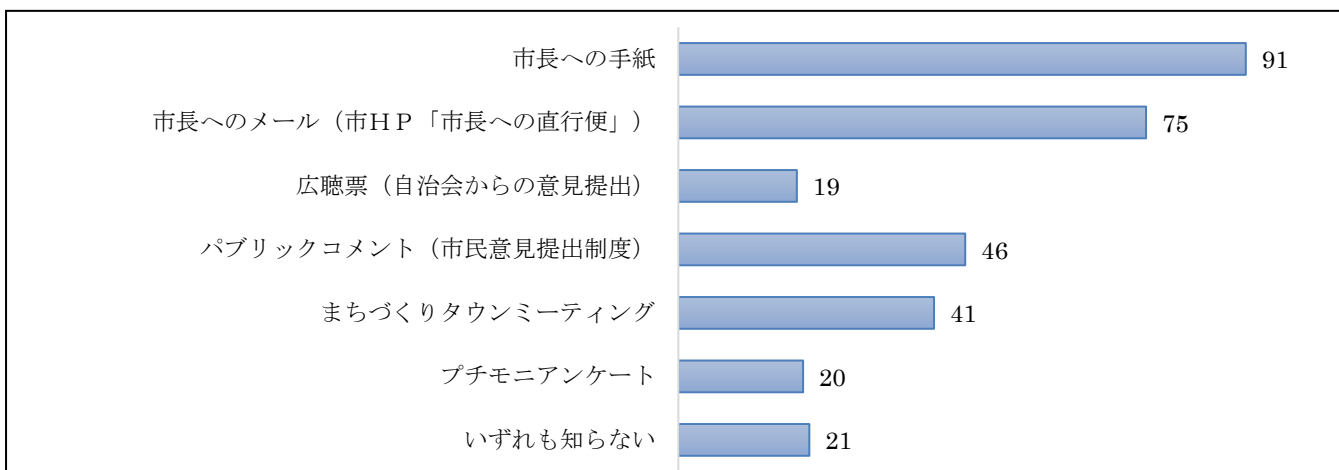
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・モニター選任は地区分けをして、広く偏らない意見が出されることを望みます。
- ・意見や提案をもっと言えるようにしてほしい
- ・意見交換会を増やしてもう少しつめていきたい。

- ・モニターをいろいろな所で募集する。小中学校を通して行うとか、もう少し若い世代を増やしてもいいのでは？
- ・今、モニターは高齢者が多いと思います。もっと若い人にもモニターをしていただきたいです。民間企業にも協力していただいて、職場でモニターを推進していただいて、設問数を減らして、忙しい方でも気軽に参加できるようにしたらどうでしょう。設問数を減らしても、回数を増やせば同じだと思います。また紙だけでなく、SNSでも返信できれば、若い方も参加しやすいと思います。
- ・アンケート内容（設問）は、市役所の視点だと思う。市民が困っていることやよりよい新居浜へ…設問が市民からの意見であってもよいのではと思う。
- ・内容にもよりますが、迅速な回答が必要ではないでしょうか。回答に誠実性と統一性を求めます。
- ・モニターは、日頃から市や地域などの活動に参加している人に偏っているのでは。
- ・市の施策について、現状や基本の構想決まっからのアンケートだけでなく構想の段階でのアンケートを実施する様にして欲しい。
- ・市政モニター制度のおかげで新居浜市のことをまじめに考える機会が増えました。少しでも市政のお役に立ててれば嬉しいです。
- ・施設見学会や意見交換会を土日にも開催してみたいかでしょうか。平日仕事をしている人が参加しやすくなるのでよいかと思います。
- ・会議が平日で参加できない。
- ・直接やりとりできる仕組み。
- ・今年、初めて市政モニターに参加しましたが、「これだけ？」という感じです。この内容では、必要性を感じません。
- ・効果を明確に示す。何に役立っているのかという実感を与えてほしい。
- ・アンケートの結果のフィードバックがあると良いと思います。
- ・各モニターにはメールで全体版、市政だよりには要約版などの使い分けは必要と思います。
- ・アンケートの内容を市政モニターに送ることも考えてみては如何？・会議の回数を増やし、内容を充実させて。しかし、「会議をやりました」という事実を作るためのスタンドプレーの会議ならやらない方がましだが。
- ・モニター資格は18歳以上と理解していますが、より若者の意見を反映させるために、16歳以上に変更するのはどうでしょうか。
- ・モニター会議に参加しましたが、若い世代の参加が少ないように思いました。平日の為に、都合がつかないのでは、と思います。現役世代には、土日祝の休日開催が参加し易いと思います。逆に、平日の方が良いと言われる声もあるでしょう、調整願います。
- ・モニターの意味を理解して調査結果の回答結果を返信して頂きたいと思います。経験や体験および処遇されたり見聞して、選別は公正清潔の為に必要だと思料されますが、差別的、偏見的処遇、規範意識等の欠如が市政に存在しないようにモニター制度を通じ市政に反映される事を期待して回答をしていますが、次のように記載して「回答結果報告に本報告では回答の一部を紹介します。」と切り取り部分だけ紹介していますが、批判ではない不公正不清潔な市政の事実を見聞してモニター回答をしていますので、重要な部分は記載していただけることを期待します。

問14. 市では、市政モニター制度以外にも、市民の声を市政に反映させるための広聴活動を実施しています。次の中で、あなたが知っているものはありますか。(複数選択)

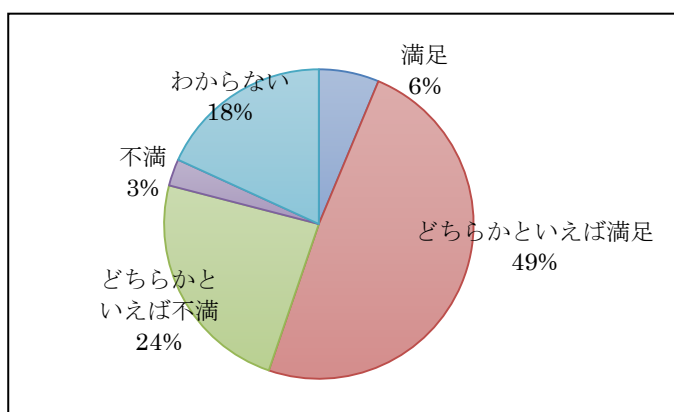
1. 市長への手紙	91人
2. 市長へのメール(市HP「市長への直行便」)	75人
3. 広聴票(自治会からの意見提出)	19人
4. パブリックコメント(市民意見提出制度)	46人
5. まちづくりタウンミーティング	41人
6. プチモニアンケート	20人
7. いずれも知らない	21人



「1. 市長への手紙」(91人)、「2. 市長へのメール(市HP「市長への直行便」)」(75人)などが、市政モニター制度以外に知っている広聴活動として多く挙げられています。

問16. 現在の新居浜市の広聴活動についてどう思いますか。(1つ選択)

1. 満足	9人
2. どちらかといえば満足	70人
3. どちらかといえば不満	34人
4. 不満	4人
5. わからない	26人
1. 満足	9人



「2. どちらかといえば満足」(49%)と答えた方が最も多く、次いで「3. どちらかといえば不満」(24%)、「5. わからない」(18%)、「1. 満足」(6%)、「4. 不満」(3%)の順となっています。

問 17. その他、新居浜市の広報・広聴活動について、ご意見があればお聞かせください。

(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【広報について】

- ・ 広報塔が聞き取りにくい
- ・ 最近の市のホームページの使い勝手が悪すぎる。スマートフォン対応を優先的にしているためか、パソコンで見ようとすると、わかりにくい。パソコン対応とスマートフォン対応を分けるべき。ホームページの表書きに、どちらなのかをクリックするようにすれば可能と思われる。
- ・ ネット検索が不得手な人でもわかりやすいようにしてほしい
- ・ HPからの問い合わせで下水道課にメールしたら、夜だがかちんと電話連絡がきました。問い合わせフォームからは写真画像が送れない為に電話の時に自分にメール送って貰ってからそこに添付データで送り返すという二度手間・三度手間になります。変更をお願いします。
- ・ 以前あった『新居浜インフォ』みたいなのがあれば良いと思う。ホームページは掲載内容が遅いと思う。(西条市や四国中央市と比べて…)
- ・ 市政だよりは、自治会に入っていないと配布されないので、より多くの方に手にとって貰う為にも、全世帯配布(フリーペーパーのようにポストに届く)システムにしたら良いと思う。(新居浜市以外でその様にしているところもある。)それでもいらぬという世帯や、ホームページで読んでいるので、紙の市政だよりは不要な世帯は、配布を中止したら良いと思う。
- ・ 住民が読みたくなる地域に密着した内容もあれば良いと思う。
- ・ 市政だよりのコンクールみたいなので西条市が大賞に選ばれており、為になる内容だったり、写真が綺麗だったので参考にされたら良いと思う。
- ・ 広報は、読みやすいです。毎月新居浜市の情報を得る為に、活用しております。子育て世代、高齢者世代、とそれぞれが必要としている情報を分かりやすくという点を意識して頂けると更に見やすくなる気が致します。
- ・ 高齢の方、多忙な方は市政だよりを読まない方もいるので、自治会回覧時にチラシ形式で目につきやすく、読みやすい内容で回覧すれば良いと思います。若い世代や中堅世代には、SNS やネットなどすぐに目につきやすい方法で興味を持てる内容が良いと思う。
- ・ 自治会加入者が減っています。市政だよりも届かない状況です。ともに働かれています方が多く、市政だよりや家で寛ぐ時間がない方が多いと思います。(家庭で子供の世話食事作りに一?時間)主婦と両立されている様子です。(広聴活動、広報は)若い方は出来ない状態。ますます生活が苦しくなると、余裕がなく、身近にいることが心痛みます。
- ・ 女性の方は料理に関心があり、料理のページを入れて欲しいと思います。(10月号の高血圧を防ごう(保健センター)健康に関する料理よかったです。)
- ・ もっと記事の内容を見直して、市民が読みたい、知りたいと思うようなものにしてほしい。どうせ大したこと載っていないだろう…という声もよく聞きます。

・新居浜市の町として目指す将来ビジョン（夢等）について、より分かり易く実感が持てる様な広報を期待しております。

・市政だよりでほとんどの情報を得ていると思うが、最近ラインで送られてくる情報がリアルタイムで得ることができ、大変重宝している。しかしラインでは細かな情報が得られにくいし、情報量も限られる。ゆえにいろんな方法で情報発信する方法をとれば、確実な方法で市民に情報が伝えることができる。ラインなどの活用をもっと普及してほしい。

・広報については、地味で興味を沸かさない感、息を潜めた感が見事だと思います。

・LINEで、イベントのお知らせがあるので、活用している。これらかもイベントやお得情報、新店舗のお知らせなどがあるといいなと思う。

・周知されていないものが多数あるのではないのと同じです。

広報に問題があるのではないかと？

・自分の住んでいる市なので、頑張ってPRしたりする人たちがいる事は嬉しい事です。

そう言う人たちと、大人も子供ももっと距離が近づくようなイベントや機会があればと思います。

誰でも顔見知りの人や好感のある人には良くしてあげたいと思うものなので。

・最新の情報をSNSやホームページで若者は閲覧できるが、老人も閲覧出来る様に市政だよりやそれに代わるものがあればいいと思います。

#### 【広聴について】

・お店みたいに人が集まる所に意見箱みたいなものを置いたり、市政だよりに市民の声のコーナーを作り、市としての意見をのせるようにしたらいいのではないかと。

・モニターさんの中で、モニター会議の中で質問なり、意見を出して回答を聞きたいと期待していても、通常テーマがそこそこ絞られているので、”的”をついた回答を得る事が出来ない場合があると思います。年1回モニターさんに特別に、これだけは聞きたい、テーマによっては、担当課に出向いて管理職の方に回答得られるようなことが出来ればと思っておられる方もおられるのではと思います。そういった事もできればと考えます。

・アンケートの施設見学以外に（テーマ別に）公園めぐりや観光物産や工業や農作物収穫体験など市民が楽しめるガイドツアーをして頂けると再発見することができて、市のことをもっと知ることができるので企画して頂けたらと思います。

・メインとなる題材を分かりやすく活動すれば良い。

・市政モニターがあるのを知らなかった市政モニターのアンケートを参考にして決められたらたまらないみたいな意見があったのを聞きました。そういう、自分から情報を得ていかない待ってれば情報が入ってくると思っている人は良い影響を残さないで切り捨てていいと思います。

・市役所の人目につきやすい所に意見をどうぞみたいなポスターとかを貼って、それに意見を送る方法をいろいろ記載してみる市政だよりに毎月同じ場所に意見をどうぞみたいな枠を、見つけやすく少し大きめに作って意見を送る方法をいろいろ記載してみる。毎月目につくところに掲載していれば少しずつ皆さんに知ってもらえて意見を送る人が増えていくかもしれません。

・道路や公共交通といったインフラ維持に関するアンケートをやってほしい。新居浜市内の移動に課題を感じる人は少なくないと思います。

・一方的に伝え、一方的に要望を出すのではなく、意見のキャッチボールができるとよいと思います。

・市民の声としてのアンケート結果などを市政だよりも結果をその都度のせて活動を知らない人にも教えてほしいです。

・多くの意見を聞くと様々な意見が出て政策が難しくなることもあると思いますが、それを選択して政策を立案して、丁寧に説明しながら実行することが市政の運営に大事なことだと考えます。

無関心の人が多くなるのは困ります、これからも出来るだけ多くの市民の意見を聞く機会を作って、市の取り組みに関心を持つ市民が一人でも多くなるよう施策や方法を引き続きお願いします。

・新しく目にした人にも参加しやすい企画・時代にあった企画・魅力的な企画が増えていければと思います。

・新居浜市民は新居浜市で生まれ育った人だけではありません。市のイベントへの反対意見(太鼓祭り廃止など)に対して、今までみたいに無視や聞き流すような対応ではなく真摯に対応しないとまずいです。新居浜市の人口を増やしたければ、市民からモニターを募集するだけでは絶対に足りません。新居浜市民以外の意見を多数収集し、しっかり活用すべき。

・市民から広く意見を拾い集める制度の広報をすれば良いのではないのでしょうか

#### 【その他・共通】

・現状活動で良いと思う。関心を持たない人を引き込むのは難しい。

・河川の雑木の繁茂で石垣が壊れる。パトロールを実施し、県と相談して伐採してほしい。校区集会でも意見を提出している。

・市役所の売店を、よく利用しています。その時にあかがねポイントを使えばありがたいです。私はアプリではなくポイントカードを利用していますので、対応して頂ければ助かります。

・市政モニターの回答をラインでできれば大変便利かなと思ったりしました。私はアナログ人間なので、この紙面での回答もあわせて継続お願いしたいです。

・1つの問題について深く検討する機関がほしい。

・市議会における質問。回答を公平に取り扱ってほしい。できれば別刷集がほしい。

・県外からの移住促進や今年度の暴力祭りを見直して、観光や暮らしやすい、市民が誇れる市へ向けて活動して欲しい。



<まとめ>

今回のアンケートでは147人の皆さんに回答をいただきました。

まず、市の広報活動に関しては、行政情報を得る手段として最も活用されているのは「市政だより」であり、全体の約9割の方が市政だよりで市の情報を得ていると回答されていました。また、市政だよりの改善点や要望としては、「文章を簡潔にわかりやすくする」「特集記事を増やす」等が多くなっていました。また、今後力を入れてほしい情報発信の方法については、「市政だより」の次に、昨年のアンケート時には34.5%であった「公式SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム）」と答えた方の割合が47.6%と多くなっており、デジタル媒体の活用など多様な広報が求められていることが分かりました。

次に、市の広聴活動に関しては、まずは実際に市政モニター活動にご協力いただいている皆さんに、活動に参加した所感や制度の改善点を伺いました。活動を通じて市政への理解関心が「高くなった」「どちらかといえば高くなった」と答えた方は全体の約9割となっており、制度の改善点としては、「アンケートの調査回数（年3回）を増やす」が多くなっていました。さらに、自由意見では、施設見学会の土日開催や、アンケート結果のフィードバック、会議開催回数増加のご希望があり、非常に積極的な姿勢で取り組んでいただけたことがわかりました。今年度は施設見学会の会場を滝の宮公園とさせていただいたため、休日は一般の方のご利用も多く、混雑を避ける目的で平日開催とさせていただきましたが、次年度開催においては土日開催を前向きに検討させていただきたいと思っております。

市政モニター以外の広聴活動としては、より気軽にアンケートに答えていただくことで多くの市民の皆様の声をいただく目的で今年度9月よりシステムを稼働している「プチモニアンケート」について、認知いただいている方が全体の1割程度であり、まだまだ認知度が低いため、今後コンテンツ充実とともに、さらなる広報に努める必要があることがわかりました。

今回のアンケートでLINEやSNS等への関心を持たれている方も多くみられたため、従来の広報広聴手段のさらなる拡充を図るとともに、インターネットを活用した双方向での情報のやりとりや、迅速な広報・広聴により、市政をもっと身近に感じ、より関心を持ってもらえるよう取り組んでまいりたいと考えています。また今回のアンケート結果は貴重な参考資料として、今後の制度運営に生かしてまいりたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

(担当課：シティプロモーション推進課・秘書課)

